

Link つながる Live 生きる Learn 学ぶ Labour 労働 Liberty 自由

# エルコンパス

宝塚市立男女共同参画センター・エル

2025年7月 Vol.57

宝塚市立男女共同参画センター・エルは、すべての人が個人として、性にとらわれず、自分らしくいきいきと充実した生活を送ることができる「男女共同参画社会」の実現をめざすための施策推進の拠点施設です。センターの愛称“エル”は上記の5つのLの頭文字をとったもので、市民からの公募で決定しました。

## 特集

寄稿) 過去に学ぶ

男女共同参画スタディーズ 2025 開催レポート	P.1
寄稿) 過去に学ぶ	P.2~P.3
講座案内: 8月~11月	P.4~P.6
エルフェスタの案内	P.7
施設利用案内	P.8

### <男女共同参画スタディーズ 2025 開催レポート>

## みんなで考えるジェンダーの基礎講座 “ないこと” にしない社会へ

センター・エルでは、毎年「男女共同参画週間」(6/23~29)に向けて、ジェンダーの基礎講座を開催しています。今年の講座タイトルは「“ないこと” にしない社会へ」。全4回の連続講座で、社会の中で“見えづらい”もしくは“ないこと”にされてきた問題の背景にあるジェンダーについて取り上げ、性別に関わらずひとりひとりが幸せに生きる社会の実現について考えました。のべ79人の方がご参加下さり、「とても内容が深く重いものでした。毎回とても考えさせられました」「見えない事に目を向ける大切さを感じられた」「今まであまり取りあげられないテーマで、とてもよかった」等、多くの感想が寄せられました。



- 第1回 6/1(日) 「**セクシュアルマイノリティの現実と差別の構造**」  
講師:武内今日子さん (関西学院大学 社会学部 助教)
- 第2回 6/5(木) 「**戦後 80 年。戦争とジェンダーを考える**」  
講師:川名紀美さん (ジャーナリスト)
- 第3回 6/10(火) 「**世帯のなかに隔れた女性の貧困**」  
講師:丸山里美さん (京都大学 大学院 文学研究科 教授)
- 第4回 6/13(金) 「**男性の性被害、その声を聴く社会へ**」  
講師:近藤凜太郎さん (龍谷大学ほか非常勤講師)

テーマはそれぞれでしたが、背景には共通するジェンダーの構造や問題がありました。今号の特集(P2-3)では第2回の講座をご担当頂いた川名紀美さんにご寄稿を頂きました。

## 特集

過去に学ぶ  
川名 紀美

西へ、と走る貨物列車の隅に、佐藤政雄青年は身を潜めていた。荷物の間で息を殺していたのは無賃乗車のせいばかりではない。兵役を逃れる逃亡の旅だったからだ。

一九四三年（昭和十八年）十二月、大阪で召集令状を受け取った。期日までに故郷、静岡に戻り、定められた連隊に入隊しなければならない。政雄青年の頭に浮かんだのは「死にたくない」という、ただそれだけ。逃げることに決めた。

貨物列車に飛び乗り小郡まで来たとき、ふと故郷の家族を思った。反戦を訴える一家が近くに暮らし、村八分にあっていた。残された家族のことが気がかりで、母親あてに手紙を書いた。

「弟や妹たちには苦勞をかけるだろう。これが最後の親不孝。なんとしても生きたい」

朝鮮半島を経て中国大陸へ向かうことも書き添えた。唐津で船の段取りをつけようと走り回っていたとき、あっけなくつかまり、故郷へ連れ戻された。

当時、徴兵忌避は重罪である。しかし処罰は受けず、静岡の連隊に入れられ、二等兵として中国東北部へ。お咎めがなかったのは、逃亡先から出した手紙を母親が知り合いの憲兵に届けたからだと後でわかった。

戦争が終わって政雄青年は無事に戻った。「一年八カ月の間、一発も鉄砲を撃ったことのないダメな兵隊でした」

政雄青年、のちに個性的な名優となった三國連太郎さんは、そう言って穏やかな笑みを浮かべた。

一九八〇年、三國さんを訪ねたのは息子の逃亡を密告した母親に話を聞きたかったからだ。戦時中、多くの母親が当然のように息子を戦地に送り出した。三國さんの母親は、「逃げる」という息子からの手紙を受け取ったばかりに、手紙を届けるか握りつぶすかの選択を迫られた。どれほどの苦しみと葛藤があったことだろう。その胸のうちを聞きたかった。けれども母親は三年前に亡くなっていた。新聞記者になって十年。仕事とはいえ残酷な質問をせずに済んで、どこかほっとしたことを覚えている。

一九四七年生まれの私は、母や祖母から戦争の話を何度も聞かされた。食べるものがなく苦勞したこと、空襲警報が鳴り響く中、逃げまどった恐怖。いずれも被害者としての体験だった。なぜ力を合わせて戦争を止めることができなかったのだろう。

女性たちは先の戦争とどのように関わったのか、それが知りたくて一九八〇年から八二年にかけて、小さな手がかりを頼りに各地を取材して歩いた。

飢える子どもたちを追い立てて豆兵士づくりに勤しんだ女性教師、雑誌に載った若きゼロ戦パイロットに胸をときめかせた少女が歩んだ戦後、沖縄、宮古島の女子学生が意気込んで勤め始めた軍隊内部で見たもの。

進んで戦争に協力した何人もの女性たちから話を聞くことができた。

中でも国防婦人会の幹部だった女性たちの話には深く考えさせられた。

お国のために戦争に赴く兵隊さんの役に立ちたい。女性たちの素朴な願いから大阪で国防婦人会が誕生したのは一九三二年（昭和七年）のことだ。その活動は軍と結びつき、十年足らずで会員一千万人の巨大な組織に膨れ上がった。白い割烹着にタスキ掛けの女性たちが大手を振って行き交った。

はじめは取材に尻込みしていた元幹部女性たちが、やがて生き生きと戦時中を振り返り、写真や資料などを見せてくれた。あのころが人生のハイライトだったとしてもいうように。

数多く残された国防婦人会関連の資料の中に、「許可証」と銘打った数枚の書き付けをみつけた。それには「妻〇〇が大日本国防婦人会会館の理事に就任することを許可す」と夫の名で書かれ、印まで押してあった。

活動の拠点である会館の理事になる。たったそれだけのことに夫の許可が要ったとは。戦前の女性たちの置かれた状況が手に取るようにわかった。外に出て活動する自由がなかったのだ。「お国のため」という大義名分のもと、胸を張って家を空けることができる国防婦人会の活動は、女性たちの心をとらえ、生きがいともなっていたのだろう。

ただ、懸命に銃後を守った戦争が何のための戦争か、その真の姿を知ることができなかった。ラジオや新聞には検閲があり、多くの国民にとって大本営発表以外、戦争の実態を知るすべはなかった。

私は女性たちが戦争にからめとられた側面に光を当てて「女も戦争を担った」という連載記事を書き、のちに単行本にまとめた。



河出書房新社 (2023/8)

連載から四十年あまり。いまはどうか。憲法で知る権利や言論の自由が保障され、「知らされていなかった」との言い訳は許されない。

教科書には愛国心が盛り込まれ、防衛費はかつてない大幅な増額が決まった。政府が候補者六人の任命を拒否したことに端を発する日本学術会議をめぐる問題は、学問の自由を脅かすのではないか、との心配がぬぐえない。

これら一つひとつの出来事は日本を戦争に近づけるのか、それとも遠ざけるのか。しっかり見極めなければと思う。

三國連太郎さんと母親は、戦後ずっと一つ屋根の下で、しかし胸の奥にわだかまりを抱えたままともに暮らしたという。その三國さんも、国防婦人会で活動した女性たちも、この世を去った。戦争を体験した人から直接話を聞ける時間はもうそれほど残されていない。

「兵役から逃げる」。息子からそんな手紙を受け取ったのが自分だったらどうしようだろう。

この問いは、ふとした瞬間に繰り返しよみがえってくる。そのような選択を迫られるのは二度とごめんだ。

日本は戦後八十年、平和を守ってきた。さらに十年、二十年とその歩みを延ばすために、いまこそ過去に目を向け、学びたい。



ジャーナリスト

## 川名 紀美さん

1947年生まれ。ジャーナリスト。1970年に朝日新聞社入社。大阪本社学芸部、社会部、1995年から論説委員。社会福祉全般、高齢者や子ども、女性の問題に関する分野の社説を担当。2009年、朝日新聞社退社し、フリージャーナリストに。著書に『アルビノを生きる』（河出書房新社、2013）など多数。『女も戦争を担った～昭和の証言～』は2023年、40年ぶりに復刊。

講座案内

8月~11月

講座はすべて要予約。  
参加費・保育は無料です。  
申込電話番号：0797-86-4006

親子育ちセミナー

8月30日(土) 10:00~12:00

7月3日(木) から受付

3歳からの CAPワークショップ



人形劇で  
楽しく参加  
できます♪

CAPは子どもを取り巻く暴力(いじめ、性暴力等)から自分で自分の身を守るためのプログラムです。大切な3つの権利(安心・自信・自由)について学び、その権利が暴力によって奪われそうになったとき、何ができるのかを人形劇を交えながら、子どもと一緒に考えます。3歳~就学前のお子さまでも安心して楽しく参加できます。

●こどもワーク

3歳~就学前の子ども 15人 子どもが参加する場合は、必ず保護者(おとなワーク)の参加をお願いします。

：子どもの権利・いじめロールプレイ・誘拐ロールプレイ・性暴力ロールプレイ・先生ロールプレイ ※途中休憩あり

●おとなワーク

CAPに関心のある方 30人 ※おとなのみの参加もOKです♪

：子どもを取り巻く特有の問題・子どもを援助する際に役立つことなど



●講師：NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西スタッフ

●保育：10人(1歳~就学前まで) 要予約・先着順 保育締切：8/22(金)

11月8日(土) 10:00~12:00

10月3日(金) から受付

0歳児のための スター・ペアレンティング講座

子どもの成長と共に、これから親としてどう関わっていけばいいの…そんな不安はありませんか？親も子も大切にしながら、子育てを楽しむヒントを学びましょう。お子さんを遊ばせながらの会です。お気軽にご参加ください。

●講師：田上時子さん(NPO法人女性と子どものエンパワメント関西 理事長)

●対象：0歳児の子どもと保護者 6組(保護者のみの参加も可)

●保育：5人(1歳~就学前まで) 要予約・先着順 保育締切：10/31(金)

●持ち物：おむつ・必要に応じて子どもの飲み物



女性セミナー

8月4日(月) から受付

9月4日~9月18日(毎週木曜日) 全3回 10:00~12:00

知りたい!わたしの心と体におきるアレコレ★

ちゃんと知ろうとしないと意外と知る機会がない自分の身体の事。何らかの体調不良が起きていても「たぶん病気ではないから」と無理して動いてしまうこと、ありませんか？自分の身体とうまく付き合い、健康に過ごすために、女性特有の健康課題やセルフケアの方法を学びましょう♪

① 9月4日	女性ホルモンの変動による心と体への影響と、女性特有の病気について …PMS(月経前症候群)・月経困難症・更年期障害・不眠など~今日からできるセルフケアも~ 講師：南田理恵さん(一般社団法人ママズケア代表 助産師)
② 9月11日	
③ 9月18日	ヨガと安眠 ~自律神経と眠りのコントロール~ ※講義&座って行うヨガ※ 講師：吉野綾子さん(HOT&YOGA studio SOL 代表)



●対象：テーマに関心のある女性 30人 ※全回参加の方優先

●保育：10人(1歳~就学前まで) 要予約・先着順 保育締切：8/27(水)

## 講座案内

8月~11月

講座はすべて要予約。  
参加費・保育は無料です。  
申込電話番号：0797-86-4006

## 市民力開発講座②

8月4日(月)から受付

9月26日(金曜日) 18:30~20:30

## 脱・ルッキズム わたしが私であるために Part2

## ワークショップ 私にとって自由に心地よい服装って何?

「他人からどう見られるか」よりも、「自分がどうありたいか」。

他人が作った「正解」よりも、自分が感じる「心地よさ」を求めて。

ワークショップを通して、あなたももっと「好き!」でもっと「自由!」なファッションのヒントを見つけましょう。

★お洋服の交換コーナーあります! 希望者のみ。ご持参は一人1着まで★

- トーク&ファシリテーター：はらだ有彩さん

(テキストレーター・ファッションブランド<mon.you.moyo>代表)

- 対象：テーマに関心のある方 15人

- 保育：10人(1歳~就学前まで) 要予約・先着順 保育締切：9/18(木)



## 起業・就労セミナー

9月3日(水)から受付

10月9日~10月23日(毎週木曜日) 全3回 10:00~12:00

## 身近に感じる「あったらいいな」を実現する!

## 女性のための ソーシャルビジネスのはじめかた

ソーシャルビジネスとは、困っている人や不自由を感じている人の助けになるサービスや、地域をよりよくする活動を「ビジネス」の手法を用いて取り組む事です。ソーシャルビジネスに興味がある方、実現に向けアイデアを整理したい方、創業への一歩を踏み出したい方、ぜひ一緒に集みましょう! 参加者同士の対話やシェアタイム、質疑応答もあります。

10月9日	ソーシャルビジネスとは?
10月16日	ビジネスプランを考えよう!
10月23日	アイデアをカタチにするために

あなたのアイデア、誰かの「困った」に届け!

共催) 日本政策金融公庫 神戸東支社

- 講師：日本政策金融公庫 担当者

- 対象：ソーシャルビジネスでの起業を考えている、もしくは興味関心のある女性 15人 ※全回参加の方優先

- 保育：10人(1歳~就学前まで) 要予約・先着順 保育締切：10/1(水)

## サポート・グループ

9月3日(水)から受付

10月31日~11月28日(毎週金曜日) 全5回 10:00~12:00

## あたまた「離婚」が浮かんだ時 パートナーとの関係性を考える

このまま、婚姻生活を続けられるかどうか悩んでいる人へ。パートナーとの言葉や心のすれ違い。不機嫌なパートナーに気を遣い、波風立てないように努めている。意見交換をあきらめている等、心が疲れていませんか。悩んでいるのはあなただけではありません。カウンセラーが進行役として入るサポート・グループで、体験や気持ちを話し合いませんか?

- ファシリテーター：宮本由起代さん(NPO 法人 心のサポート・ステーション 代表理事/カウンセラー)

- 対象：テーマについて悩む女性 12人 ※原則として全回参加できる方

- 保育：10人(1歳~就学前まで) 要予約・先着順 保育締切：10/23(木)



講座案内

8月~11月

講座はすべて要予約。  
参加費・保育は無料です。  
申込電話番号：0797-86-4006

ほっとサロン

8月8日(金) 10:00~12:00

7月3日(木) から受付

子育てをひと休み 読書の時間



子育て、仕事に追われて、本を読む時間が無い方へ、お子さんを保育に預けて、読書をしませんか。センターの情報図書コーナーから好きな本や雑誌・漫画を選び、ゆっくり読んで頂けます。

●対象：子育て中の保護者 20人 ●保育：10人(1歳~就学前まで) 要予約・先着順 保育締切：7/31(木)

10月3日(金) 10:00~11:30

9月3日(水) から受付

親子で楽しむキッズルーム



「毎日親子で何して過ごしてる?」「子育て中の親同士、交流したいな…」気になる事、困った事を話してみませんか。キッズルームではふれあい遊び、絵本の読み聞かせなど楽しいことが盛りだくさん♪センターでお待ちしております。

●対象：乳幼児とその保護者 10組

●進行：NPO 法人女性と子どものエンパワメント関西 スタッフ

11月26日(水) 10:00~12:15

10月3日(金) から受付

子育てをひと休み 映画の時間「マダム・イン・ニューヨーク」2012年/インド/134分

子育てが中心の毎日。一人になりたい!少し子ども離れたい。気分転換に、センターで映画を観ませんか? <映画あらすじ>夫と子どもに尽くすことが務めだと信じている主婦シャシ。英会話という小さなきっかけを通して、それまで抱いていたコンプレックスをはねのけ、ひとりの女性としての誇りと自信を取り戻す。

●対象：子育て中の保護者 20人

●保育：10人(1歳~就学前まで) 要予約・先着順 保育締切：11/18(火)



情報図書

女性問題の解決や男女共同参画社会をめざすさまざまな活動をサポートする情報を収集し発信しています。

図書貸出は[ お一人5冊・2週間 ]です。

宝塚市在住以外の方も借りられます。



図書担当のおススメ本



『女の子たち風船爆弾をつくる』  
著：小林エリカ  
2020/10 KADOKAWA

できたばかりの東京宝塚劇場の、華やかな少女歌劇団の公演に、夢になった女の子たち。太平洋戦争末期、彼女達は、もはや劇場ではなくなったそこに集められる。今日からここで、秘密の「ふ号兵器」すなわち風船爆弾の製造に従事するのだ…。

膨大な記録や取材から掘り上げた無数の「彼女たちの声」。知られざる少女たちの真実の戦争記。第78回毎日出版文化賞(文学・芸術部門)受賞作。

開催予告

令和7年度 宝塚市男女共同参画プラン推進フォーラム

『女の子たち風船爆弾をつくる』著者

小林エリカさん 講演会

2025 12.14  
13:30~15:30



宝塚歌劇に憧れ、華やかな夢を抱いていた少女たちが、戦争という時代に翻弄されていく。戦後40年近く『歴史』からなかったことにされていた風船爆弾を作った少女たちは、犠牲者だったのか、それとも加害者だったのか。戦時下の少女たちの知られざる物語が、現代に生きる私たちに、今、問いかけるものとは。

受付 10/3(金)から。詳しくは決まり次第  
HP 等でお知らせいたします

# みんなで遊ぼう エルフェスタ

## 8.23 (土) 10:00~14:30

主催：宝塚男女共同参画センター連絡協議会・宝塚市立男女共同参画センター

人形劇のみ要予約 8/4(月)~受付開始  
**電話 0797-86-4006** にて  
 その他予約不要。先着順。材料がなくなり次第終了。

### 交流室コーナー

#### 被爆80年・平和への願い『広島の高校生が描いた原爆の絵展』



アニメ『つるのつる』(27分)を随時上映。折り鶴や平和への祈りを綴るメッセージカードを作成。 新日本婦人の会 宝塚支部

#### 人形劇あらかると「にんぎょうげきのおみせやさん」

人形劇屋たくたく堂による上演。

要予約 10:30~11:30(10:15 開場)

対象：幼児・小学生親子 定員：親子 20 組

参加費：おとな & 子どもペア券 1200 円

おとな 1,000 円・子ども 500 円(3 歳以上)



(市民企画支援事業)

宝塚ふぁみりい劇場

#### ホッとしゃべり場

おしゃべりで気持ちを発散させましょう！進行役のもとお話しいただけます。★お茶とお菓子付き★

13:00~14:30

対象：おとな 10 人(お子さん連れ OK)



宝塚男女共同参画センター連絡協議会

#### 絵本がいっぱい！！読み聞かせ

たくさん読むよ。いつでも来てね！ミニおみやげ付き♪

11:30~12:30

定員：親子 10 組(おとなのみも可)



NPO 法人「絵本で子育て」センター支部 絵がお

#### バルーンアートで 笑顔いっぱい

バルーンアートの制作を楽しもう♪

①11:30~12:30 ②13:30~14:30

定員：各回 30 人 親子 12 組

参加費：100 円/1 セット バルーンアート愛好会 ふ〜せんや



### フリースペースコーナー

#### 西谷の炭団(たどん)で遊ぼう

炭を粘土のようにした炭団を丸めたり、好きな形を作ろう！

10:00~14:00

参加費：100 円(1 人)

※汚れても良い服装でお越しください。

NPO 法人 新エネルギーをすすめる宝塚の会



#### つくって遊ぼう！親子ワクワク工作タイム

好きな工作を一つ選んでね。親子で楽しく工作しよう♪

①スライム作り ②キャンディバッグ作り ③紙での工作

10:00~12:00

対象：未就学児~小学校低学年

参加費：100 円 定員：30 人 子育てサークル「アーチ」



#### うちわを作ろう

身近な物を利用した手作りハンコを押して、

マイうちわを作ろう♪

10:00~11:30

参加費：100 円(1 人) 定員：20 人

宝塚友の会



#### 宝塚マジックショー

マジックの実演。子どもおとなも楽しめます♪

12:30~13:00

定員：20 人



宝塚マジック同友会

#### バザール

お菓子、手芸品などのバザー

河崎なつ(戦後第 1 回参議院議員)資料室維持

及び被災地支援カンパ

宝塚母親大会連絡会



**入場無料** (一部参加費あり)

※時間無記載のイベントは、10 時~14 時半まで実施※

#### さかなつり

手作り魚を釣って遊びます。



#### 物品交換会 ~物も巣立ちをします！~

13:00~14:30

子ども服・おもちゃ(手に持てるもの)の交換会です。当日持ってきてください。

宝塚男女共同参画センター連絡協議会

<開催予告> 11月29日(土)・2026年1月24日(土)・1月25日(日) 令和7年度 市民企画支援事業

朗読・講演会・講座などセンターの利用登録グループが企画するイベントです。詳しいご案内はちらし、センターHP等でお知らせします。

# 施設利用案内



詳しくはセンター、またはセンターのHPで  
<https://www.takarazuka-ell.jp>  
 電話番号：0797-86-4006

## 学習交流室等のご利用

センターでは、学習交流室（5室）とプレイルームを有料でお貸ししています。グループ活動・ミーティング・講演会等にご利用いただけます。

活動内容・利用者の居住地により受付開始日や料金が異なりますので、詳しくは受付までお問い合わせください。

※営利を目的とした活動（「カルチャー教室」や「おけいこごと」の指導者による利用を含む）はご利用いただけません。



## 女性のための相談室

予約番号：0797-86-4006

電話相談	月・火・木・金・第2、3、4土曜日 直通電話（予約不要）：0797-86-3488	10時～12時／13時～15時
面接相談	第2・4水曜日 ※要予約・相談時間 50分	10時～、11時～、12時～
法律相談	第1土曜日（原則） ※要予約・相談時間 45分（市民対象 原則1人1回限り）	14時～、14時45分～、15時30分～、16時15分～
起業相談	第1・3水曜日 ※要予約・相談時間 60分	10時～、11時～
チャレンジ相談	第1水曜日（原則） ※要予約・相談時間 50分	11時～、12時～、13時～

※電話相談以外はすべて一時保育あり（要予約） 年末年始及び祝日の全相談業務はありません。



## セクシュアルマイノリティ電話相談

専用電話番号：0797-71-2136

毎週水曜 15時～18時（祝日・年末年始を除く）（問い合わせ：宝塚市役所 人権平和・男女共同参画課）

自分の性や性的指向に伴う相談をはじめ、さまざまな相談に応じます。本人、家族、友人、教員などなたでも相談できます。

### 宝塚市立男女共同参画センター・エル

指定管理者

NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西

開館時間：月曜日～土曜日（9時～21時）

日曜日・祝日（9時～17時）

休館日：毎月第2日曜日・年末年始

〒665-0845 宝塚市栄町2-1-2「ソリオ2」4階

TEL：0797-86-4006 FAX：0797-83-2424

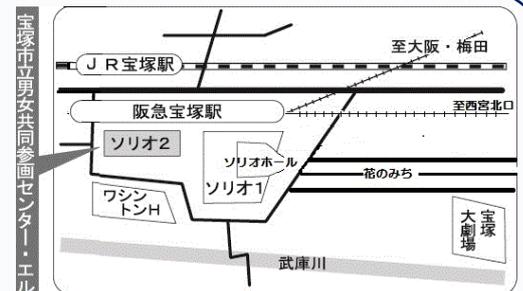
Facebook



Instagram



TAKARAZUKAELL



ホームページ：https://www.takarazuka-ell.jp

メール：elsenternpo-empower@takarazuka-ell.jp